

知って
防ごう!

“高齢者虐待”

～高齢者が安心して暮らせる社会へ～

高齢者虐待は、主に介護者や高齢者の家族など、身近な人が虐待をおこしやすい傾向にあり、その要因は、介護者の心身の疲労、相談者がいないことによる孤立感、経済的な問題などさまざまです。

平成30年度には、養護者による高齢者虐待の相談・通報が全国で32,231件ありました。近年、出雲市でも年間約30件の相談・通報を受けています。

◆高齢者虐待の状況

(出典:厚生労働省 平成30年度調査結果)

① 虐待の種類と割合

身体的虐待 たたく、蹴る、つねるなどの暴力など	67.8%
心理的虐待 怒鳴る、ののしる、無視するなど	39.5%
介護等放棄 必要な介護や世話をしないなど	19.9%
経済的虐待 必要なお金を渡さない、年金・預金の無断使用など	17.6%
性的虐待 性的な嫌がらせや強要など	0.4%

② 虐待の発生要因(主な6要因)

高齢者の介護による 疲れ・ストレス	25.4%
虐待者の障がいや病気	18.2%
高齢者の認知症の症状	14.3%
高齢者と虐待者の虐待発生 までの人間関係	12.6%
経済的な困窮	10.8%
虐待者の性格や人格	9.5%

◆どうして虐待は起こるの?

虐待は誰にでも起こり得る身近な問題です

高齢者の介護や世話をすることで心身共に疲れ、追いつめられてしまう人は少なくありません。もともと、高齢者と関係が悪くなかったにもかかわらず、適切な介護の方法や認知症への対応がわからず、つい手をあげてしまったり、虐待していることの自覚があっても歯止めがきかなかつたりする場合があります。

◆虐待の発生防止と早期発見のためにできること

◎ 介護の悩み事はケアマネジャーやあんしん支援センターへ相談を!

高齢者だけでなく、介護をしている人も支援します。

◎ 地域の「気づき」や「見守り」が虐待防止につながります!

日ごろから高齢者や介護者へのあいさつや声掛けをしましょう。

◎ 認知症への正しい理解と対応をしましょう!

さまざまな症状に落ち着いて対処しやすくなります。

お変わり
ありませんか?



連絡・相談先

◎ 高齢者あんしん支援センター (出雲市社会福祉協議会内)

出雲高齢者あんしん支援センター ☎ 25-0707

平田高齢者あんしん支援センター ☎ 63-8200

佐田高齢者あんしん支援センター ☎ 84-0019

多伎高齢者あんしん支援センター ☎ 86-7122

◎ 出雲市役所高齢者福祉課

☎ 21-6967

湖陵高齢者あんしん支援センター ☎ 43-7611

大社高齢者あんしん支援センター ☎ 53-3232

斐川高齢者あんしん支援センター ☎ 73-9125

※連絡した人の情報が他へ漏れることはありません。

認知症について学び、地域で支えよう

～認知症になっても笑顔で暮らせるまちづくり～

『認知症』は誰もがなりうるものであり、多くの人にとって身近なものとなっています。
 認知症になると、「何もわからなくなる」のではなく、本人は物忘れを自覚し、言葉や記憶があいまいになることに強い不安や寂しさを感じています。人物の見当がつかなくなったり、家族や他の介護者から注意を受けたりすることで、次第に戸惑いや孤独感、不安感が増大し、例えば「財布を盗まれた」と思い込むなど、症状を悪化させます。
 認知症の人の心情もさまざま、周囲の人の理解と気遣いがあれば穏やかに暮らしていくことができます。
 認知症の人の介護を経験された家族の思いを聞いて、認知症の人とのかかわりや地域での支え合いを考えていきましょう。

認知症ケア・フォーラム in いずも

事前申込

とき 11月28日(土)13:30～16:30 **ところ** 市役所 くにびき大ホール

内容 **第1部** 基調講演『「ぼけ」でも心は生きている コロナの中 認知症のことを知って備えよう』
 講師/認知症の人と家族の会 前代表 高見 国生 氏
第2部 事例・活動発表「認知症になっても自分らしく暮らしていくための地域での支援」
 司会/エスポアール出雲クリニック院長 高橋 幸男 氏
 ・事例発表 地域における支援 大社町 安田 大輔 氏 ・出雲市認知症地域支援推進員の活動
 ・認知症初期集中支援チームによる支援
 ・認知症高齢者等SOSメールあんしんネットワークの活動

申込方法 電話、FAXで下記まで申込みください。
 申込時には、氏名、連絡先(住所、電話番号)をお伝えください。

※新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては開催中止とさせていただきます。

参加
無料

申込み・おたすね / 医療介護連携課 ☎21-6106 FAX:21-6749

オンライン (Zoom) 開催!

会社と従業員を守る 介護離職防止セミナー

こんな人におすすめ!
 ★中小企業経営者
 ★人事担当

高齢者人口の増加とともに、介護は親がいる人すべての問題になってきています。企業の中核を担う「働き盛り世代」に、望まない介護離職をさせてはいけません。企業の未来も従業員の未来も守るために、今すぐ取り組める対策を分かりやすく説明します!

11月20日(金)15:00～16:30

参加
無料

事前申込制

講師は自宅から
オンライン講演
します!



講師

わ き み え
和氣 美枝 氏(1971年生・埼玉県在住)

マンション開発会社で働いていたが、32歳の時に母親が病気になり、38歳で不動産業界を去り、その後は転職、離職を繰り返す。その後2011年に介護者支援団体に出会い、介護をしながら生きていくことに向き合えるようになる。現在、要介護4の母と同居生活中。手探りで介護を始めた体験と介護者支援への熱い思いから、2014年に「ワーク&ケアバランス研究所(WCB)」を、2016年に「一般社団法人介護離職防止対策促進機構(KABS)」を設立。

会場

出雲市役所1階
 くにびき大ホール

または

会社、自宅などお好きな場所
 ※通信環境・端末はご自身でご用意ください

申込方法

電話、FAX、メール

メール



メールアプリが
立ち上がります

コロナ対策

会場入口に消毒用アルコールを設置しています。手洗い、咳エチケットの厳守、マスクの着用等、感染症対策にご協力ください。体調がすぐれないときは、本セミナーへの参加をご遠慮ください。当日の体温測定等の健康チェックにご協力をお願いします。感染状況によっては、中止または延期する場合があります。

おたすね / 市民活動支援課 ☎21-6952 FAX 21-6299 メールアドレス gaku@city.izumo.shimane.jp